

選挙公報

午後8時まで投票できます

横浜市選挙管理委員会

未来への責任。実行力で進めます。

2011～2014年 4年間の取り組み

2011年の自民党マニフェストは88%達成!

よこはま自民党政務調査会副会長として、議員提案条例8本中の7本を制定。特に、絆条例・児童虐待防止・都市農業促進の3条例は、責任者として条例案を起草。2011年版「責任と約束」は、マニフェスト大賞グランプリを受賞。「政治は結果責任」との信念で活動しました。

- ・高校生の留学支援制度を確立
- ・児童養護施設 中里学園の存続を実現
- ・発達障害等、障害者政策の改善に取り組む
- ・美しが丘西小学校を開校
- ・住田西コミュニティハウス(仮)建設へ

プロフィール

昭和39年8月生まれ。同志社大学商学部卒業。セコム株式会社、ソニー生命保険株式会社を経て、平成19年4月横浜市議員初当選。以降2期連続当選。よこはま自民党政務調査会副会長。元住子田小学校 PTA会長 家族/妻 長男 次男 長女 愛犬(ミニチュアシュナウザー)

「山下正人の基本政策」
・教育力の向上・財政の健全化・議会の向上

- 1 次4年間の重点政策**
都構想だけじゃない。横浜市に総合区制度を！青葉区の住民自治を高めるために、総合区制度の検討を始める。*総合区とは、現行の議員定数のまま、東区23区の様に権限が強化します。
- 2 介護支援の強化と健康寿命の延長に取り組む。**
介護度が改善される事で施設にインセンティブが出る仕組みを、横浜から提言する！ 質の高い高齢者福祉を進めます。
- 3 子育て支援と教育環境の充実。**
幼稚園の預かり保育を充実する。横浜市在住高校生の海外留学を3倍にする。発達障害など困難を抱える児童のサポート強化。東急線と比較して割高な市営地下鉄の通学定期の引き下げ等。
- 4 地下鉄3号線(あざみ野)新百合ヶ丘の早期開通を実現。**



横浜市議員 自民党公認

山下正人

365日 横浜・青葉のために!

これからも「丘の横浜・青葉」で市民の願いを「かたち」にしていきたいと思います。横山正人の目標は努力した人が報われ、納税者が税金にみあうと感じられる政治の実現です。

●プロフィール
昭和39年東京オリンピックの年、横浜に生まれる。桜葉林高校、桜葉林大学卒業後、米国デラウェア大学留学。在米日本大使館勤務の後、参議院議員秘書。平成7年、横浜市議員初当選。連続5期出選。環境問題、7人対策、行政改革など幅広く活動中。大塚町に妻、長男(大2)、長女(大1)の4人家族。

この選挙公報で伝えきれない内容は
facebook
twitter
ホームページ

横山正人(横浜市議員 青葉区)
電話1本! 政治の出前!
を「検索」してください。

- 1 青葉区民との6つの約束**
東日本大震災は横浜にも多くの犠牲を残しました。青葉区で多く発生した帰宅困難者対策、避難場所、情報提供、ライフライン確保。また、昨年横浜市内で発生した産婦人科の重大な被害。このような都市住宅地型防災の確立を進めます。
- 2 防犯対策の強化を進めます。**
治安に不安を感じる市民の声をよく聞きます。空き巣や強盗、振り込め詐欺などから青葉の治安を守るのが政治の原動力。安心してこの街で暮らすための救急医療、小児医療体制を確立します。
- 3 地域医療の充実を進めます。**
コシの不況は医療費を押し上げ、分別廃棄物の推進、受動喫煙対策など新たな分擔環境の徹底に努めます。
- 4 街の美化を進めます。**
深刻な待機児童対策など子育て環境の充実を進めます。教育による人材育成は我が国の生命線です。公教育による学力、体力の向上と基礎教育の向上に努めます。仮設校舎の解消、横浜型中学校登校の早期完全実施など教育環境整備に努めます。
- 5 学校教育の充実を進めます。**
- 6 区民の便利を進めます。**
コシの不況は、子育て世代の住民票、印鑑証明交付の拡大、自動交付機の配備を進めます。市営地下鉄の新百合ヶ丘延伸の早期実現、こども園の園川延伸を進めます。



自由民主党

横山正人

一人ひとりの子どもを大切にする中学校給食の実現を

大貫のり夫は党横浜市議団長として、議会での論戦をリードしてきました。

市政の「おかしい」をたたく

カジノ誘致や高速横浜環状道路、超高層の新市庁舎建設など、なぜ、東京オリンピックに間に合わせなくてはならないのか。その前に、防災対策、保育所や介護・福祉の充実など、やるべきことは沢山あります。

緑豊かで暮らしやすいグッドな青葉区を

- ★もう一館、図書館を
- ★区役所支所及び出張所の設置
- ★バス停の上屋とベンチの増設
- ★川や田畑、緑など環境保全

プロフィール

1947年西区生まれ。県立横浜翠嵐高卒。桜台で酒店経営、横浜緑民主商工会会長、谷本中学同窓会会長等を歴任。横浜市議7期。現在は桜台で妻と二人暮らし。

日本共産党の躍進で 安倍政権の暴走ストップ!日本は今、歴史の岐路に立っています。「海外で戦争する国」づくりを許さない!憲法9条を守ろう!



日本共産党

大貫のり夫

中学校給食を頑として反対している自民党、日本共産党の躍進で、中学校給食を実現しよう。横浜市議の予算は、ニュージブラルドルの国家予算の約半分にあたる。財源はあります。何を大切にすべきか。日本共産党に横浜市議会でも議席を増やすか。子どもからお年寄りまで安心して、住みよい横浜、青葉区を一緒に作りましょう。

大貫のり夫

おとなが道ゆく子どもにあいさつをされるまでに

- ◆議員は市民のための政策を考えるべき
- ◆みなさんが困った時に頼られる存在になるべき

そのために私は立候補します

- ・みんなが楽しく過ごせるまちにしたい
- ・子育てに引越してきてくれるようなまちにしたい
- ・そして私だけでなく、政党に縛られないような議員をみなさんと選んでください。そして一緒にまちを築いていきましょう

議員をもっと働かせよう

- 【政策】
- ・オリンピックに向けて急ぐ新市庁舎を延期(50億の無駄)
 - ・換った留守宅児童対策キッズクラブを廃止し(年間20億)必要な対策を優先的に実施
 - ・小学校教師支援(学級崩壊対策)・中学校給食の実現
 - ・生まれてから高齢者になるまでのコミュニティの充実(大人のコミュニティづくり、自治会の活性化)
 - ・議員報酬・選挙の透明化(議員の無駄使いを明らかに)
 - ・無駄な海外議員視察の中止(1人120万)

①青葉区は他のまちに比べて少しだけ豊かです。だから気がつきにくいのですが、実は教育や福祉が不十分で、今まさに困っている人はいるのにその人たちは届きません。②だから、足りない部分を補うために働いている方々が沢山います。学校とそれをささげる学童・コソ・おやじの会や自治会。また実際にサービス現場で頑張っている職員や施設の方々もです。でもその頑張っている人たちが困った時に手を差し伸べる人はやはりいません。残念ながらこの街の議会では①や②の市民に本当に必要なものではなく、高額な新市庁舎や、元(カジノ)など大きなものに税金が高いです。



無所属

平井和彦

無所属 44歳
昭和45年 大阪出身 東海大学卒業後神奈川へ、「ITコンサル会社(フューチャーアーキテクト)からソフトバンクモバイルに転職。人の顔になり地域参加するなかで立候補を決定
所属している地域の団体:もぐら学童クラブ・あざみ野第二小学校PTA・おやじの会 大塚町一心会

ホームページ: <http://khirai.jimdo.com/>

統一地方選挙

投票日

(市会・県会・知事)

4月12日(日)

午前7時～午後8時

投票日に、投票所へ行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

期日前投票 4月11日(土)まで

区役所投票所 午前8時30分～午後8時

臨時投票所 午前9時30分～午後8時